

ジャズピアノ

Dr.カワシマのプロ技伝授!

エンディング虎の巻

セッションで使用する完全網羅の156パターン

川島 茂

ジャズピアノ「エンディング虎の巻」 CONTENTS

はじめに	4
本書の使い方	5
スタンダード・ジャズ・ハンドブック対応索引	89

第一章 万能エンディング

1 Up Tempo	8
①上り下りエンディン	8
②ガーランド・エンディング	10
③④⑤強引に終わらせてしまうエンディング(その1)~(その3)	12~14
⑥ケリー・エンディング	15
⑦I→VII ₇ を繰り返すエンディング	15
⑧III ₇ が上がってから下がってくるエンディング	16
⑨IV ₇ が上がってから下がってくるエンディング	17
⑩IV _{m7} ⁽⁶⁾ から下がってくるエンディング・パターン	18
⑪マイルス・エンディング	20
⑫パツと終わっちゃうエンディング	21
⑬エンディングを付けない	22
⑭マイナー曲のエンディング	24
2 Medium Tempo	25
3 Ballad	26
①III ₇ から下がってくるエンディング	26
②V _{M7} →II ₇ ⁽¹³⁾ →V ₇ ⁽¹³⁾ →VII ₇ ⁽¹³⁾ と転回するエンディング	28
③VII _{M7} →III ₇ ⁽¹³⁾ →IV ₇ ⁽¹³⁾ →II ₇ ⁽¹³⁾ と転回するエンディング	29
④V _{M7} →II _{M7} と転回するエンディング	30
⑤マイナー曲のエンディング	31
4 Bossa Nova	32
①I→VII ₇ を繰り返すエンディング	32
②I→II ₇ を繰り返すエンディング	33
5 Waltz	34

第2章 定番エンディング

1 Up Tempo(メジャー・キー)の定番エンディング	36
①(#9)が効果的なエンディング	36
②転調が効果的なエンディング	36
③IV ₇ から下るエンディングの応用	37
④ジャズの歴史上、最も有名(?)なエンディング	37
⑤I ₇ ^(#11) で終わるブルージーなエンディング	37
⑥イントロと同じフレーズを用いたエンディング例(その1)	38
⑦イントロと同じフレーズを用いたエンディング例(その2)	38
⑧~⑫あらかじめ譜面に書いておいたり、打ち合わせで決めておくエンディング・パターン(その1)~(その5)	39~41
2 Up Tempo(マイナー・キー)の定番エンディング	42
①イントロのリフを使ったエンディング例	42
②II _{m7} →V ₇ を繰り返して解決していくエンディング例	42
③メロディーのラスト2小節を繰り返すエンディング例	42
④Im→V ₇ を繰り返すエンディング例	43
⑤メロディーのラスト2小節を繰り返し、最後は倍のサイズにするエンディング例	43
⑥あらかじめ譜面に書いておいたり、打ち合わせで決めておくエンディング例	44
⑦続くと見せかけて終わってしまうエンディング例	44
⑧モード系の曲でのエンディング例	45
⑨イントロのパターンを利用したエンディング例	45
3 Medium Tempo(メジャー・キー)の定番エンディング	46
①シンプルに終わるエンディング例	46
②一定のコード進行を何回か繰り返すエンディング例	46

4 Medium Tempo(マイナー・キー)の定番エンディング	47
①一定のコード進行を繰り返すエンディング例	47
②コード進行が下降進行していくエンディング例	47
③④あらかじめ譜面に書いておいたり、打ち合わせで決めておくエンディング例(その1)(その2)	48
5 Ballad(メジャー・キー)の定番エンディング	49
①色んな曲に応用できるエンディング例	49
②③④テーマ・メロディーの一部をモチーフにしたエンディング例(その1)~(その3)	49,50
⑤ブルージーなエンディング例	51
⑥あらかじめ譜面に書いておいたり、打ち合わせで決めておくエンディング例(その1)~(その5)	51~54
6 Ballad(マイナー・キー)の定番エンディング	54
7 Bluesの定番エンディング	55
①②最後のメロディーを繰り返すエンディング例(その1)(その2)	55
③メロディーの一部を応用するエンディング例	56
④イントロを用いたエンディング例	56
⑤メロディーの最後の4小節を繰り返してそのまま終わっちゃうエンディング例	57
⑥メロディーの最後の2小節を繰り返してそのまま終わっちゃうエンディング例	57
8 Waltzの定番エンディング	58
①5度のペダルを使うエンディング例	58
②メロディーをパツと終わらせて、最後におしゃれな感じのカデンツァを加えたエンディング例	58
③マイナー系のキーでIm→V ₇ という進行を繰り返すエンディング例	59
9 Mamboの定番エンディング	59
10 Bossa Nova(メジャー・キー)の定番エンディング	60
①マイナーな感じで終わるエンディング例	60
②ラストを3回繰り返し替えし、3回目に少し変化を付けるエンディング例	60
11 Bossa Nova(マイナー・キー)の定番エンディング	61
①イントロをそのまま使ったエンディング例	61
②Im ₇ →V ₇ を繰り返すエンディング例	61
③④あらかじめ譜面に書いておいたり、打ち合わせで決めておくエンディング・パターン(その1)(その2)	62
⑤トニック・コードの5度の音を変化させるエンディング例	63
12 Shuffleの定番エンディング	63
13 Rumbaの定番エンディング	63
①イントロを応用したエンディング例	63
②I→VIm ₇ →II ₇ →VII ₇ のコード進行を利用したエンディング例	64
③あらかじめ譜面に書いておいたり、打ち合わせで決めておくエンディング・パターン	64
14 Sambaの定番エンディング例	65
①I→V ₇ を繰り返すエンディング例	65
②一定のフレーズを繰り返すエンディング例	65
15 Calypsoのエンディング例	66
①②メロディーの最後の4小節を3回繰り返すエンディング例(その1)(その2)	66
16 Afroのエンディング例	67
①トニックの1コードを繰り返すエンディング例	67
②5度ペダルを利用したエンディング例	67
③I ₇ →VII ₇ を繰り返すエンディング例	68
第3章 エンディング直前の循環コード・パターン	
1 メジャー・キーにおけるエンディング直前の循環コード・パターン	70
(1)ラスト4小節が IIm ₇ V ₇ I I の場合の循環コード・パターン	70
(2)ラスト4小節が IIm ₇ VI ₇ IIm ₇ V ₇ I I の場合の循環コード・パターン	72
(3)ラスト2小節が IIm ₇ V ₇ I の場合の循環コード・パターン	74
(4)ラスト数小節を繰り返す循環コード・パターン	75
(5)その他の場合の循環コード・パターン	78
2 マイナー・キーにおけるエンディング直前の循環コード・パターン	80
第4章 実例編	
(1) 'S Wonderfulでの実例編	84
(2) Danny Boyでの実例編	86

はじめに

ジャズ・ピアニストの最も重要な役割の1つに、「イントロを弾くこと」があげられますが、それと同じくらい重要な役割が「エンディングを引っ張る」という事です。

イントロも、もちろんセンスが問われますし、ピアニストの腕の見せ所ですが、基本的にはミディアム・テンポ以上のテンポの曲は8小節、バラード等は4小節の「ピアノ・ソロ」と考えることもでき、自分で自由に弾くことが出来ます。

それに対してエンディングは、ピアニストがバンド全体をリードしていかなければなりません。ですので、センスももちろん問われるのですが、それと同時に、バンド全体にどのようなエンディングで曲を終えるのかを瞬時に伝えなければなりません。

「終わりよければ全てよし」ではないのですが、どんなに良い演奏しても、エンディングで全員が合わなかったりしたら、演奏そのものの後味もあまり良くならない傾向にあります。

ですから、エンディングを引っ張るというピアニストの役割は、イントロと比べると地味ですが、より重要なものかもしれません。

さて、本書は、先に、本書と同じ中央アート出版社から刊行されております私の著書『イントロ虎の巻』と対をなす内容になります。『イントロ虎の巻』同様に、“習うより慣れろ！”的な発想で、エンディング例を豊富に(156例)紹介しております。

しかし、イントロとエンディングは、捉え方が少し異なりますので、紹介の方法も多少違います。ですので、『イントロ虎の巻』の続編では無く、1冊の独立した書物と捉えてください。言い換えれば、『イントロ虎の巻』をお持ちでない方にも、読んでいただける内容になっています。

また、同出版社より刊行されてベストセラーとなっている『スタンダード・ジャズ・ハンドブック』に掲載されている曲の全ての曲目についてエンディング例を紹介しております。本書との対応表は、巻末に掲載されておりますので、参考にして下さい。

そのため、ジャム・セッション等で、「知らない曲をいきなりやる」と言われても、この対応表を使って探せば、大抵のスタンダード曲のエンディングは付けられるわけです。ただし、曲によっては、バンド全員で打ち合わせておく必要がある曲もありますので、そういう曲の演奏前には、軽くメンバーで打ち合わせてもいいでしょう。

これまでエンディングの出し方が分からず苦手にしてきたピアニストの方も、是非とも本書を練習して、その苦手を克服して下さい！

川島 茂

本書の使い方

本書では、内容を大きく4つの章に分けています。

第1章と第2章は、エンディングの実例を紹介しています。

まず**第1章**は、多くの曲で使える、**万能エンディング**。これらはエンディングのタイプを曲のテンポやキー、リズムによって分類しており、多くの曲での使用が可能です。具体的には、曲のタイプを

① Up Tempo ② Medium Tempo ③ Ballad ④ Bossa Nova ⑤ Waltz

の5つのパターンで分け、その中で、キー別紹介しております。

次に、**第2章**は歴史上のジャズ・ミュージシャンの名演奏や、セッションでお約束になっている**定番エンディング**。これは、1つのエンディング例に対して使える曲の数が少なくなりますが、もはや曲の一部となっているエンディングもあるので、覚えていくようにしましょう。曲のタイプ分けは、万能エンディングよりも細かくなりますが、キーでは分けておりません。1エンディング例につき1つのキーで紹介しています。

第1章、第2章ともに、各エンディング例の下に、「この曲に使える」という項目があります。これは、このエンディング例で使える曲を紹介しています。もちろんこれはほんの一例です。もちろん他の曲でも、曲のテンポ、キー、リズムなどが一致すれば使えますので、色々試してみてください。「スタンダード・ジャズ・ハンドブック」掲載の曲目との対応は、巻末の対応索引で調べる方がスピーディーかもしれません。

また、「この曲にも使える」という項目もあります。これは、そのままでは使えないかもしれませんが、皆様で色々応用していただければ、「この曲にも使えるよ！」という事で紹介しております。工夫して使ってみてください！

そして、**第3章**では、エンディングと同じくらい重要な、エンディング直前の循環コード・パターンの対応表を紹介しています。

こちらは実例を挙げるスペースが無いのと、曲ごとに全ての実例をあげていくのは本書の主旨にも合わなくなるので、コード進行を度数で表記したものと、Key = C (ハ長調) の場合のコード表記を紹介しています。

巻末の対応表に、『スタンダード・ジャズ・ハンドブック』掲載の楽曲と、ここで紹介しているエンディング直前の循環コード・パターンも合わせて掲載しております。

第4章は、実際に本書で紹介してきたエンディング例やエンディング直前のコード・パターンを実際の楽曲中ではどの様に用いるかを、「But Not For Me」と「Danny Boy」を実例に挙げて説明しております。言い換えると、第1章～第3章までの本書の内容の使い方を第4章で説明している訳です。

1 Up Tempo

① 上り下りエンディング

ほとんどの“歌モノ”曲で使える万能エンディング

in C

Chords: C6, Em7^(b5), F, F[#]dim, C/G, C7^(#9)

❖この曲に使える 『All Of Me』『In A Mellow Tone』

in E^b

Chords: E^b6, Gm7^(b5), A^b, A^{dim}, E^b/B^b, E^b7^(#9)

❖この曲に使える 『But Not For Me』『Heart And Soul』

in F

Chords: F6, Am7^(b5), B^b, B^{dim}, F/C, F7^(#9)

❖この曲に使える 『Just Friends』『What Kind Of Fool Am I?』

1 Up Tempo (メジャー・キー) の定番エンディング

① (#9) が効果的なエンディング

Chord progression: E^b_7 , $D^b_7(^{\#}9)$, $C_7(^{\#}9)$, $D^b_7(^{\#}9)$, $C_7(^{\#}9)$

❖この曲に使える 『All The Things You Are』

② 転調が効果的なエンディング

Chord progression: B^b , $E^b m_7/A^b$, A^b , $B^b m_7/A^b$, A^b , $E^b m_7/A^b$, A^b , $B^b m_7/A^b$, A^b , $E^b m_7/A^b$, A^b , $B^b m_7/A^b$, A^b , B^b_7/A^b , A^b_{sus4}

❖この曲に使える 『In Your Own Sweet Way』 ❖この曲にも使える 『Doxy』

4 Medium Tempo (マイナー・キー) の定番エンディング

①一定のコード進行を繰り返すエンディング例

Musical score for example 1, showing a repeating chord progression in a minor key. The score is written for piano in 4/4 time. The key signature has two flats (B-flat and E-flat). The progression consists of four measures, each with a specific chord and a triplet bass line. The chords are: Dm7, G7/D, Dm7, G7/D, Dm7, G7/D, Dm7, G7(13). The bass line features a triplet of eighth notes in each measure, with the final measure having a triplet of eighth notes followed by a quarter note.

❖この曲に使える 『Plum』

❖この曲にも使える『Stolen Moment』

②コード進行が下行信仰していくエンディング例

Musical score for example 2, showing a descending chord progression in a minor key. The score is written for piano in 4/4 time. The key signature has two flats (B-flat and E-flat). The progression consists of eight measures, with chords: A^b7, G7, F7, E^b7, D7, D^b7, CmM7. The bass line features a descending line of chords, with a triplet of eighth notes in the final two measures. The final measure has a triplet of eighth notes followed by a quarter note. The score ends with a fermata over the final chord.

❖この曲に使える 『Sugar』

❖この曲にも使える『Jordu』

10 Bossa Nova (メジャー・キー) の定番エンディング

①マイナーな感じで終わるエンディング例

Chords: Cm7, F7, Cm7, F7, Cm7, F7, Cm7, F7, Cm7

❖この曲に使える 『Wave』 ❖この曲にも使える『Agua De Beber』

②ラストを3回繰り返し、3回目に少し変化を付けるエンディング例

Chords: Gm7, C7, F6, Gm7, C7, F

❖この曲に使える 『So Danco Samba』 ❖この曲にも使える『Summer Samba』

1 メジャー・キーにおけるエンディング直前の循環コード・パターン

(1) ラスト4小節が | II_{m7} | V₇ | I | I || の場合の循環コード・パターン

※ 2小節目が II^b₇ の場合も含まれます。

● パターン 1-①

	II _{m7}		V ₇		III _{m7} ^(b5)		VI ₇	
	II _{m7}		V ₇		I		I	
Key = Cの場合								
	D _{m7}		G ₇		Em ₇ ^(b5)		A ₇	
	D _{m7}		G ₇		C		C	

● パターン 1-②

	II _{m7}		V ₇		III _{m7}		VI ₇	
	II _{m7}		V ₇		I		I	
Key = Cの場合								
	D _{m7}		G ₇		Em ₇		A ₇	
	D _{m7}		G ₇		C		C	

● パターン 1-③

	II _{m7}		V ₇		I		I	
	II _{m7}		V ₇		I		I	
	II _{m7}		V ₇		I		I	
Key = Cの場合								
	D _{m7}		G ₇		C		C	
	D _{m7}		G ₇		C		C	
	D _{m7}		G ₇		C		C	

● パターン 1-④

	II _{m7}		V ₇		I	VII ₇		VII ^b ₇	VI ₇	
	II _{m7}		V ₇		I	VII ₇		VII ^b ₇	VI ₇	
	II _{m7}		V ₇		I	I		I		
Key = Cの場合										
	D _{m7}		G ₇		C	B ₇		B ^b ₇	A ₇	
	D _{m7}		G ₇		C	B ₇		B ^b ₇	A ₇	
	D _{m7}		G ₇		C	C		C		

● パターン 1-⑤

	II _{m7}		V ₇		I		VI ₇	
	II _{m7}		V ₇		I		I	
Key = Cの場合								
	D _{m7}		G ₇		C		A ₇	
	D _{m7}		G ₇		C		C	

● パターン 1-⑥

	II _{m7}		V ₇		II _{m7}		V ₇	
	II _{m7}		V ₇		I		I	
Key = Cの場合								
	D _{m7}		G ₇		D _{m7}		G ₇	
	D _{m7}		G ₇		C		C	

2 マイナー・キーにおけるエンディング直前の循環コード・パターン

※ 便宜上、パターンの番号は、メジャー・キーからの通し番号として、パターン6-○とします。

●パターン6-①

ラスト4小節が		II $m_7^{(b5)}$		V $_7$		Im		Im		の場合
		II $m_7^{(b5)}$		V $_7$		Im		VI $m_7^{(b5)}$		
		II $m_7^{(b5)}$		V $_7$		Im		VI $m_7^{(b5)}$		
		II $m_7^{(b5)}$		V $_7$		Im		Im		
Key = Cの場合										
		D $m_7^{(b5)}$		G $_7$		Cm		A $m_7^{(b5)}$		
		D $m_7^{(b5)}$		G $_7$		Cm		A $m_7^{(b5)}$		
		D $m_7^{(b5)}$		G $_7$		Cm		Cm		

●パターン6-②

ラスト4小節が		Im		V $_7$		Im		Im		の場合
		Im		V $_7$		Im		V $_7$		
		Im		V $_7$		Im		V $_7$		
		Im		V $_7$		Im		Im		
Key = Cの場合										
		Cm		G $_7$		Cm		G $_7$		
		Cm		G $_7$		Cm		G $_7$		
		Cm		G $_7$		Cm		Cm		

●パターン6-③

ラスト4小節が		Im $_7$	VI $m_7^{(b5)}$		II $m_7^{(b5)}$	V $_7$		Im		Im		の場合の 循環コード・パターン	
		Im $_7$	VI $m_7^{(b5)}$		II $m_7^{(b5)}$	V $_7$		Im $_7$	VI $m_7^{(b5)}$		II $m_7^{(b5)}$	V $_7$	
		Im $_7$	VI $m_7^{(b5)}$		II $m_7^{(b5)}$	V $_7$		Im		Im			
Key = Cの場合													
		Cm $_7$	A $m_7^{(b5)}$		D $m_7^{(b5)}$	G $_7$		Cm $_7$	A $m_7^{(b5)}$		D $m_7^{(b5)}$	G $_7$	
		Cm $_7$	A $m_7^{(b5)}$		D $m_7^{(b5)}$	G $_7$		Cm		Cm			

●パターン6-④

ラスト4小節が		VI b Maj $_7$		II $m_7^{(b5)}$	V $_7$		Im		Im		の場合	
		VI b Maj $_7$		II $m_7^{(b5)}$	V $_7$		Im	Im $_6$		Im $_7$	Im $_6$	
		Im	Im $_6$		Im $_7$	Im $_6$		Im				
Key = Cの場合												
		A b Maj $_7$		D $m_7^{(b5)}$	G $_7$		Cm	Cm $_6$		Cm $_7$	Cm $_6$	
		Cm	Cm $_6$		Cm $_7$	Cm $_6$		Cm				

(1)'S Wonderful での実例編

この章では、まずジョージ・ガーシュウインの名曲『S Wonderful』を例にして、これまでに紹介してきたエンディング例とエンディング直前の循環コード・パターンを、実際の曲中ではどのように使用するのかを説明してみましょう。

『S Wonderful』の最後の4小節のメロディーは以下の通りです。

【Ex.1】



まずは、エンディング直前の循環コード・パターンを考えます。

巻末の対応索引で、『S Wonderful』を見ると、第3章で紹介した●パターン1-②(70ページ)が使用できる事が分かります。

ここでもう一度、●パターン1-②を紹介します。

●パターン1-②



このパターンを【Ex.1】で応用します。

実際には以下の様になります。

【Ex.2】

次に、エンディングを考えます。

本書で紹介しているエンディング例は、基本的にはその曲のトニックのコード(I)に解決した小節からを紹介しています。

(補足)“トニックに解決する”ということ

ほぼ全ての曲が、メロディーの最後に、その曲のキー(調)のコードで終わります。

ここで紹介している『S Wonderful』はキーがE^b(変ホ長調)ですので、曲の最後のコードはE^bで終わります。このE^bをトニックのコードといい、度数表記で(I)となります。

巻末の対応索引では、14ページ中段のエンディング例が使用できる事が分かります。

ここでもう一度紹介します。

(2) Danny Boy での実例編

では次に、『Danny Boy』を使用して、バラード曲におけるエンディング例とエンディング直前の循環コード・パターンを、実際の曲中ではどのように使用するのかを説明してみましょう。

ちなみにこの曲は、イギリスのフォーク・ソング『ロンドンデリーの歌』がアメリカの南北戦争のときに、別の歌詞がつけられて『Danny Boy』となりました。

『Danny Boy』の最後の8小節です。

【Ex.5】

Chord sequence: Eb Cm Fm B^b7 Eb //

まずは、エンディング直前の循環コード・パターンを考えます。

巻末の対応索引で、『Danny Boy』を見ると、第3章で紹介した●パターン2-②(72ページ)が使用できる事が分かります。

ここでもう一度、●パターン2-②を紹介します。

●パターン2-②

III ^m 7	VI ⁷	II ⁷	V ⁷	I	VI ⁷	II ⁷	V ⁷	
I	VI ⁷	II ⁷	V ⁷	I		I		

このパターンを【Ex.5】で応用します。III^mはG^m7、IV⁷はC⁷になりますが、それぞれE^bとC^m7で考えます。実際には以下の様になります。

【Ex.6】

Chord sequence: Eb Cm⁷ Fm⁷ B^b7 E^b C⁷(#9) F⁷ B^b7 E^b Cm⁷ Fm⁷ B^b7 E^b //

↳ ここからエンディングへ向かう

ここまでは、大体『S Wonderful』の時と、やり方は同じですね。

では次に、エンディングを考えます。

『S Wonderful』のエンディングの説明の時、「本書で紹介しているエンディング例は、基本的にはその曲のトニックのコード(I)に解決した小節からを紹介しています。」と書いたのですが、例外もたくさんあります。というのも、特にバラードの曲などは、トニックに解決するまえからエンディングがスタートしている場合が多いのです。ですので、紹介しているエンディング例もトニックに解決する1小節前からの例を紹介することになります。曲によってはもっと前の小節からエンディングに入る事もあります。エンディング例のコード進行を注意深く見ながら、どこからエンディング例に移行するのか、探ってみてください。

さて、

巻末の対応索引では、29ページ中段のエンディング例が使用できる事が分かります。

ここでもう一度紹介します。



■ 著者プロフィール

川島 茂 (かわしま しげる)

生年月日：1968(昭和43)年1月16日

血液型：A型

昭和49年6月、ピアノのレッスンを開始。中学生のときテレビで見た映画「ベニィ・グッドマン物語」に影響を受け、独学でジャズを始める。大学時代はアマチュア活動としてライブハウスなどで活動するも、卒業とともに就職する。

しかし平成6年、26歳のとき、プロになる夢を捨てきれず、脱サラ。プロとしての活動を開始する。その後は、歌の伴奏、インスト両方をこなすピアニストとしてホテル、バー、ライブハウスなどで活動中。

川島茂ジャズ・ピアノ教室

私自身が、ジャズピアニストとして活動しているため、定期的なレッスン日を設けることが出来ず、完全予約制の個人レッスンのみ行っております。入会金1万円、1レッスン50分¥5,000-です。

ご興味のある方は、pianity@nifty.comまで、レッスン希望の旨ご連絡下さい。追って、詳しいレッスンの内容についてのメールを返信いたします。
なお、生徒さんの数がある程度に達すると、ご新規の生徒さんには一定の期間、入会をお待ちいただくこともあります。あらかじめご了承下さい。

ジャズピアノ

エンディング虎の巻

MS180 C101030-1(1.0x)

2010年 10月30日 第1刷発行

著 者：川島 茂
楽譜浄書：ソラシドガクフ
表 紙：あーむ巧芸
印 刷：美研プリンティング株式会社
製 本：美研プリンティング株式会社



発 行 者：吉開 狭手臣

発 行 所：BAD 中央アート出版社

〒101-0031 東京都千代田区東神田1-11-4

TEL 03-3861-2861 (代表)

FAX 03-3861-2862

振替口座 00180-5-66324

小社への御意見・御希望は E-mail：info@chuoart.co.jp
ホームページ：<http://www.chuoart.co.jp>

ISBN978-4-8136-0587-4

本書の無断複製・転載を禁じます。落丁・乱丁本の際はお取替えいたします。